会議顛末書（議事録）

件名	令和８年度第１回中野市地域クラブ活動推進協議会
日時	令和８年８月２５日（火）　18:28～19:55
会場	中野市中央公民館　101 体育室
出席者	（委員） 武居和紀（会長）、中山重光（副会長）、大宮真実、阿藤博之、中村幹夫、丸山光信、 浅沼千恵、中村和孝、角田　晃、水落洋平、黒岩滉河、田近佳代子（計 12 名、敬称略） （中野市） 秋元くらしと文化部長、丸山教育次長、荒井文化スポーツ振興課長、小林学校教育課長、 宮澤文化振興係長、小林生涯学習課長補佐、戸島学校教育係長、豊田施設係長、 高木副主幹、和田指導主事　（計 10 名） （オブザーバー） 長野県教育委員会保健厚生課２名、北信教育事務所学びの共創課１名、 長野県スポーツ協会１名、　一般参加者２名
資料	別添のとおり

主な内容

進行；小林学校教育課長

1　開会のことば（小林学校教育課長）　18:28

2　あいさつ　　（丸山教育次長）

3　本協議会の目的・要領について（事務局）

別紙１　「中野市地域クラブ活動推進協議会要領」にて確認

4　会長、副会長の選出

○事務局案を提案し、委員の承認を受け以下の方に決定。

会　長；武居和紀委員（中野市部活動改革推進委員　高社中学校校長）

副会長；中山重光委員（中野市柔道スポーツ少年団　代表）

5　協議　（座長は会長）　　18:35～19:50

（１）令和８年度の推進予定について　（事務局）

（２）中野市の地域クラブ活動の状況及び方向について　（事務局）

・資料１；協議会の方向と推進計画を中心に説明。

・資料２；令和６年１１月の公表内容と現在の状況・見通しを中心に説明。

・資料３；５月１２日現在での部活動や地域クラブへの参加状況を説明。

（質疑）

・資料２・３から、これからクラブ化を進めている部活動もある。会費や用具・道具代等の経費についての見通しを周知してもらいたい。

⇒認定制度も含めて、保護者への周知を進めていきたい。（事務局）

・資料２の「校内クラブ活動」と「中野市地域クラブ」の説明内容が、現在の方向と違っている。特に『大会参加を目的とする』という表記は変更したほうが良い。

⇒６年度の時点の文言です。新たな位置づけの中で修正していきたい。（事務局）

・「校内地域クラブ」は設立できないかもしれない。部活動終了と同時になくなるのではないか。

⇒学校と相談したり、生徒保護者の意見を聞いたりして、設立できるか個別に検討していきたい。（事務局）

（３）地域クラブの位置づけについて（事務局）

・資料４；県から示された「信州地域クラブ活動認定ガイドライン（案)」をもとに、「認定要件①」「認定要件②」を中心に説明。

・資料５；県から示された「認定地域クラブ活動の認定に関する要綱」と「認定要件確認書」について、内容を確認し、市としては「要領」として策定したい旨を説明。

・資料６；「中野市地域クラブの位置づけと認定スケジュール（案)」について、認定クラブの位置づけや認定スケジュールについて説明。

（１０分程度、委員間で意見交換）

（質疑）

・認定制度による、金銭支援についてのメリットが書かれていない。中野市の方向を説明いただきたい。

⇒国の支援案が示されているので、中野市教育委員会内で検討している。（事務局）

・県の認定要件①で、生徒の募集範囲について方針が示されている。この方針のように地域振興局（中野市は北信）内でのクラブ化が原則でよいか。

⇒令和１０年度までの移行期間を経て、①～③の完全適用を考えている。（県）

・地域展開について、北信地域は進んでいると聞く。県内の状況はどうか。大会運営にかかわって、中体連の大会を指導者や保護者が運営していくのは無理があると思う。先生方の関わりはどうなるのか。

⇒県内では、今年度末で約９割の部活動が休日の地域展開を完了する予定である。特に、北信地域は展開が進んでいる。また、長野県は全国的にも進んでいる。大会については。過渡期であり、大会そのものの見直しもされている。ただ、地域クラブとなっても、学校と地域クラブは連携していくので、先生方の関わりが完全になくなることはないと考える。中体連にかかわっていた先生の中で、連盟や協会の大会にもかかわってくださる方もいると思う。（県）

（意見・要望）

・各クラブへの補助の具体案については、令和７年１２月以降、国・県から示されている。市としても補助をすすめてほしい。また、認定制度は、大会・コンクールへ参加しやすくするための制度であるので、認定要件に合うクラブを広く認めていただきたい。

・中体連への参加希望があるかどうかにかかわらず、認定要件に当てはまるクラブは認定してほしい。

・既存の団体の中で、新たにクラブを立ち上げた場合、認定クラブの申請ができるようにしてほしい。また、認定されたクラブは補助対象としてほしい。

・部活動を目当てで登校している子もいると聞く。クラブになって、参加する生徒が少なくならないようにしたい。既存の活動だけでなく、多様な活動がクラブとして設立されるとよい。

・卓球については、８月・９月に保護者・生徒への説明会を行っていただきありがたい。現在、来年度のクラブ実施について不透明である部について、保護者や生徒が不安を感じている。どんな感じでクラブ化されるのか、現状はどの段階なのかを保護者・生徒へ情報発信してほしい。

（４）部活動の地域展開の見通しについて（事務局）

・資料７；「部活動の地域展開の課題について」で支援や方向について説明（事務局）

（要望）

・中学校では、今年度まで部活動係があった。来年度以降も中体連の大会があるので、個人競技を中心に「学校名」で参加したい生徒がいると考えられる。部活動はなくなっても、このような希望者が大会へ参加できるようにしてほしい。

6　諸連絡　　19:51

（１）次回の予定　（事務局）

〇次回は、２月の開催を予定。開始時刻は今回と同様で、期日・会場については早めに連絡する。

7　あいさつ　　（秋元くらしと文化部長）

8　閉会のことば（学校教育課長）　　19:55